

独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ

医療安全管理者養成研修（医療安全対策研修Ⅰ）実施要領

（申込フォーム利用施設向け）

1. 研修目的

医療機関における医療安全管理者に必要な基本的知識・技術について習得し、自施設の医療安全の質を保障する役割を担える能力を養う。

2. 研修目標

- 1) 医療安全に関する基本的な知識と技術について理解できる。
- 2) 安全管理体制の構築や、医療安全文化醸成に必要な知識を理解できる。
- 3) 医療安全管理における職員の教育研修の企画・運営・評価に必要な知識・技術を習得できる。
- 4) 医療事故発生時の対応や事例分析・評価・対策の手法に係る知識・技術を習得できる。

3. 対象者

次の要件を満たす者

- 1) 今後、医療安全管理者に就任が見込まれる者
- 2) 病院内（施設内）で医療安全活動に従事している医療安全管理委員会等の委員及び医療安全推進担当者（医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、事務職員等）

4. 主催

独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ

5. 研修内容

「プログラム」の通り

6. 募集人数

20名（先着順）

その他、東海北陸グループ管内職員も合同で受講します。

7. 研修時間

45時間（eラーニング：40時間、オンライン研修（Web）：5時間）

＊上記時間に確認テスト及び受講レポート作成にかかる時間が追加される。

8. 受講に関する留意事項

- 1) 本研修のeラーニングは、国立病院機構共有カリキュラム「医療安全対策研修Ⅰ」を受講していただくため、eラーニングのタイトルは「医療安全対策研修Ⅰ」となります。講義には、一部国立病院機構の内容が含まれますので、講義資料の取り扱いについては、受講生限りとしてください。
- 2) eラーニングを受講後、東海北陸グループで開催されるオンライン研修を受講することになります。
- 3) eラーニングの受講に際し、アカウント作成のため、氏名及びメールアドレスを受講申込時に登録いただきます。誤って登録された場合、受講に支障が生じますので、申込フォームに入力する際は、間違いのないようご注意ください。
- 4) また、申込時に登録いただいたメールアドレス宛に、eラーニング受講用のID及びパスワードをお送りいたしますので、そちらを活用いただきメール内のリンクよりアクセスください。

9. 受講場所

自施設等において受講（eラーニングシステム及びWebexを利用して配信）

10. 受講期間

- 1) eラーニング期間：令和8年8月24日（月）～令和8年10月2日（金）
- 2) オンライン研修（LIVE配信）：令和8年10月8日（木） 【参加必須】
※アーカイブは残りません

11. 申込期間

令和8年6月29日（月）～令和8年7月24日（金）

12. 申込方法

下記URLまたはQRコードより申込フォームにアクセスしお申込みください。
独立行政法人国立病院機構 東海北陸グループホームページからもお申込みいただけます。

<研修申込フォーム>

<https://forms.gle/zNBS7cUwxzZi9dBm8>



13. 受講決定について

申し込まれた方については、後日ご登録いただいたメールアドレス宛に受講決定通知を送付いたします。定員に達した結果、受講できない方については、別途お知らせいたします。

14. 受講料

29,700 円（消費税込）

振込先は、受講決定通知に合わせてご案内しますので、案内に従ってお支払いください。

※領収書につきましては、銀行振込時の振込明細書を領収書の代わりとしてご利用いただきたいですが、領収書の発行も対応いたしますので事務局までご連絡ください。

15. 修了証書の交付

本研修は、医療安全対策加算の施設基準における「医療安全に係る研修」に該当する研修です。令和 8 年度の研修プログラムを全て修了した者に、グループ担当理事名による修了証書を交付します。修了証書は、事後課題を確認後、後日郵送します。

13. 提出書類

①研修に係るアンケート（Web）

提出期限：オンライン研修終了後～令和 8 年 10 月 15 日（木）

②事後課題

自施設の事例を用いて ImSAFER を実践後、
「研修後実施状況報告書」（別紙）を提出する。

提出期限：令和 8 年 12 月 11 日（金）17 時

14. 受講準備について

①e ラーニング

- ・ e ラーニングの受講が可能な PC 等を準備する
- ・ 講義資料（印刷したもの）

②集合研修（LIVE 配信）

- ・ マイク・カメラ付き PC を準備してください。
- ・ Webex by Cisco を利用するため、使用環境を整えてください。

※WebexURL：<https://www.webex.com/ja/index.html>

- ・ 研修当日使用するミーティング番号及び資料については、概ね 1 週間前にメールで送付します。

15. 問合せ先

独立行政法人国立病院機構 東海北陸グループ 医療担当

国立病院機構名古屋医療センター内 サービス棟 5 階

TEL：（052）968-5172 FAX：（052）968-5170

E-mail：713-iryo@mail.hosp.go.jp

令和 8 年度 医療安全管理者養成研修（医療安全対策研修Ⅰ） プログラム

1. e ラーニング：40 時間

令和 8 年 8 月 24 日（月）～令和 8 年 10 月 2 日（金）

研修内容：スライドタイトル (視聴時間の目安)	時間	講師
1) 医療安全の基本的知識		
我が国の医療安全施策の動向と医療安全の基本的知識 (2 時間 15 分)	2	パラマウントベッド株式会社 顧問 杉山 良子
法的責任と医療紛争対応 (1 時間 30 分)	1.5	弁護士法人曙綜合法律事務所 弁護士 大森 公貴
医療事故発生の機序とヒューマンエラー (2 時間 20 分)	2	自治医科大学名誉教授 株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長 河野 龍太郎
医療の質の向上と評価 (1 時間)	1	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 医療安全管理部長 安田 あゆ子
地域における連携 (1 時間)	1	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 病棟部長 山田 高彰
2) 安全管理体制の構築		
病院における医療安全管理体制 組織横断的な組織づくり (2 時間)	2	九州大学病院 ARO 次世代医療センター 特任准教授・病院長補佐 鮎澤 純子
チーム医療に関する基本知識・他職員との役割分担や 協働に関する知識 (2 時間 10 分)	2	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 医療安全管理者 藤原 喜美子
適切な会議運営に必要な視点とコミュニケーションの 推進に関する知識 (1 時間 30 分)	1.5	イムスリハビリテーションセンター東京 葛飾病院 医療安全対策室 医療対話推進者 患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人架け橋 理事長 豊田 郁子
院内感染対策の実践 (1 時間 30 分)	1.5	国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 病院副院長 国際感染症センター長 大曲 貴夫
医薬品の管理（薬のリスクから患者を守る） (1 時間 40 分)	1.5	医療安全システムデザイナー 古川 裕之
医療機器の安全管理 (1 時間 30 分)	1.5	公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部長 坂口 美佐

研修内容：スライドタイトル (視聴時間の目安)	時間	講師
3) 医療安全についての職員研修の企画・運営		
研修の企画・運営・評価 研修企画書の作成 (3 時間)	3	医療法人社団哺育会白岡中央総合病院 医療安全管理課 課長 渡邊 幸子
4) 医療事故発生時の対応		
医療事故発生時の対応 ①医療事故等発生時の対応に関する基本原則 ②医療事故発生時の初動対応に必要な知識 ③医療事故調査制度事例の対応と必要な知識 (3 時間 15 分)	3	一般社団法人日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター) 医療事故調査・支援事業部 参事 畑 涼子 主査 森山 仁美
5) 安全文化の醸成		
医療のリスク低減を目的とした組織文化の醸成 (2 時間)	2	自治医科大学名誉教授 株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長 河野 龍太郎
患者・家族の医療への参加 (コンフリクト・マネジメントと医療メディエーション) (1 時間 35 分)	1.5	社団法人 日本医療メディエーター協会 九州支部代表 シニアトレーナー 独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター 名誉院長 宮下 光世
医療事故を経験した家族の立場から (1 時間 30 分)	1.5	患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人架け橋 理事長 豊田 郁子
6) 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価		
医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価 (1 時間 20 分)	1.5	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 医療安全管理部 医療安全管理者 安積 喜美代
事例の分析方法 ①ヒューマンエラー発生メカニズム ②エラーに関係ある人間の特性と行動分析手法の要件 ③分析手法の基礎知識と ImSAFER 分析手法について ④事故の構造に基づく要因分析、背後要因探索の効率化 ⑤エラー防止対策の考え方 (5 時間 30 分)	5	一般社団法人医療安全全国共同行動 事務長 田島 英明

※一部の講義を除き、各講義に確認テストを設けている。

2. 集合研修（オンライン）：5 時間

令和 8 年 10 月 8 日（木）10：00～16：00（オリエンテーション等除く）

研修内容	時間	講師
ImSAFER 分析手順	5	一般社団法人医療安全全国共同行動 事務長 田島 英明

【事後課題】

(別紙)

提出期限: 令和8年12月11日(金)17時

研修後実施状況報告書
(令和8年度 医療安全管理者養成研修)

●自施設(自部署)の事例を用いたImSAFER分析の実施状況

受講者名	
病院名	
分析事例のタイトル	
実施日(複数日実施していれば全て記載)	
分析参加者(本人含む総数)	人
分析事例に選んだ理由	
分析結果から導き出した再発防止策を進めるうえで、最初に取り掛かること	

●研修を踏まえた自施設(自部署)における医療安全活動への取り組み

講義・演習を踏まえ、自施設(自部署)の課題をもとに検討している医療安全に関する取り組み(箇条書き可、数は問わない) ※上記分析で挙げた取り組みと重複していても可	
---	--